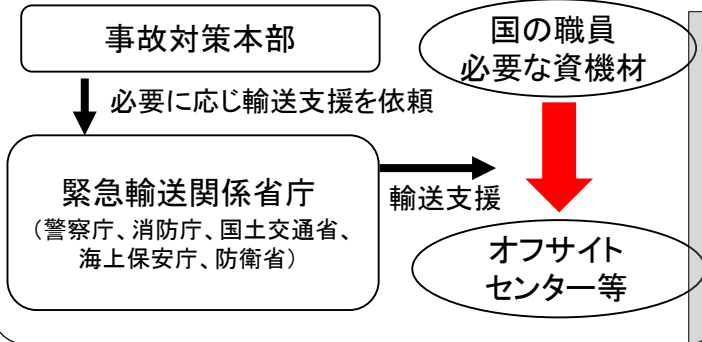


国の職員・資機材等の緊急搬送

- 施設敷地緊急事態発生 の通報後、あらかじめ定められた100名程度の国の職員をオフサイトセンター及び各府県庁に派遣。併せて必要な資機材の緊急搬送を実施。
- その後、状況に応じて追加要員及び資機材の緊急搬送を実施。

<具体的な移動及び輸送支援のスキーム>



オフサイトセンターの放射線防護対策・電源対策

- 大飯オフサイトセンターは、耐震構造、鉄骨鉄筋コンクリート造2階建ての構造になっている。
- 放射線防護対策
 - ・全てのオフサイトセンターの放射性物質汚染防護対策は完了。
換気設備・フィルタ設置、窓枠の二重化等の気密性向上、除染用仮設テント等は、平成26年3月に完了。
- 電源対策
 - ・全てのオフサイトセンターにおいて、非常用発電機、燃料タンクの増設(平成26年3月完了、3日分)及び電源車用電源受け口の設置により継続して電源を確保。更に、「オフサイトセンターに係る設備等の要件に関するガイドライン」の改訂に基づき、非常用発電機燃料タンク増設工事(約13kL増設)を実施し、7日分の電源を確保。(平成29年3月完了予定)
 - また、福井県は、福井県石油業協同組合と協定を締結しており、オフサイトセンターなど災害対策上重要な公的施設等に優先給油される仕組みを構築し、給油確保方策も確立。



大飯オフサイトセンター
(おおい町)

非常用発電機、燃料タンクの増設(平成26年3月完了、3日分)
更に燃料タンク増設工事を実施(平成29年3月完了予定、7日分)

(発電所からの距離約 7km)



仮にオフサイトセンターが機能不全に陥った場合でも、代替オフサイトセンターに移動し、対応可能。

大飯発電所の代替オフサイトセンター

- 福井県生活学習館
(発電所から約76km) *2
- 福井県敦賀原子力防災センター*3
(発電所から約35km)*1
- 福井県美浜原子力防災センター*3
(発電所から約31km)*1

*1 距離は、いずれも「直線距離」となる

*2 非常用発電機を整備(3日間稼働)

*3いずれも、大飯オフサイトセンター(大飯原子力防災センター)と同等の放射線防護対策及び電源対策の整備を完了

高浜オフサイトセンター
(発電所から約10km)

大飯発電所

出典: 国土地理院ホームページ (<http://maps.gsi.go.jp/#9/35.808904/136.148071>)
「白地図」国土地理院 (<http://maps.gsi.go.jp/#9/35.808904/136.148071>) をもとに内閣府(原子力防災)作成

- 一般回線が通信不全の時には、原子力災害対策用に整備されているTV会議回線を含む専用通信回線を使用し、更に専用通信回線が不全の場合は、衛星回線を使って、連絡体制を確保。
- その他、中央防災無線、衛星携帯電話等を使用し、連絡体制を確保。

